寄稿

IAWE 会長賞を頂いて

伊藤 學*

Manabu ITO

このたび図らずも国際風工学会（IAWE）初の IAWE Presidential Award を頂きました。これは生涯を通じての風工学における業績を賞して与えられるものとされ、私の場合には、特に長大スパン橋梁の空気力学における風工学に関する生涯を通じての寄与と、日本風工学会並びに国際風工学会において果たした指導的役割を認めて、とされています。確かに1976年、わが国で日本風工学会を創設したのは、京大防災研の故石崎滄雄教授（建築）と土木の私を中心になってでした。初代の会長を石崎先生が、2代目を私が務めました。当時から既に年次総会、年次研究発表会を催すほか、内容豊富な季刊の学会誌を刊行するなど、国際的にもこの分野の先端を切る活動を始

めました。IAWE 前会長の田村幸雄先生、現会長の Ahsan Kareem 教授（米国 ノートルダム大学）らもこれを評価してくださったのでしょうか。もちろん私自身もその後本四架橋をはじめとする長大橋建設時代で耐風工学との縁は続きましたが、国際活動の重心は IABSE（国際構造工学会）の方へ移りました。したがって、およそ半世紀前の私の活動を再評価していただいたのは望外でもあり光栄でした。私も既に90歳、長生きしたおかげでこのたびの栄誉に浴しました。因みに、今回のこの表彰では、立派な賞状（写真）とガラスの賞牌（水晶杯）を贈られました。

IAWE 会長賞の賞状と盾

* 名誉会員，東京大学名誉教授 ito-manabu@amy.hi-ho.ne.jp
Honorary member, Professor emeritus, the University of Tokyo